



「環境から考える私たちの暮らし」をテーマに「岩国環境フェスタ2015」が6月6日、市役所多目的ホールで開催されました。

地球温暖化対策推進行事・水道週間・環境月間行事として行われたこのフェスタは、地球温暖化対策地域協議会、水道局など5団体が主催する恒例行事で、多くの親子連れなどでにぎわいました。

来場者は13カ所に設けられたブースで、清流錦川の豊かな自然を支えるミクロな生き物の顕微鏡観察や、下水処理場で活躍する微生物の観察のほか、省エネ電球比較実験や尿素による吸熱実験、うちわ・エコバッグ・生物の模型の工作などにチャレンジし、楽しみながら環境について考えました。

岩国環境フェスタ 2015

ブースごとに出题されたクイズにたくさん正解するとゴーヤの苗や省エネグッズのプレゼントがあり、会場は盛り上がり上がっていました。

環境保全課 ☎ 51100

エコで地球や家計に優しく!!

市政 PICK-UP

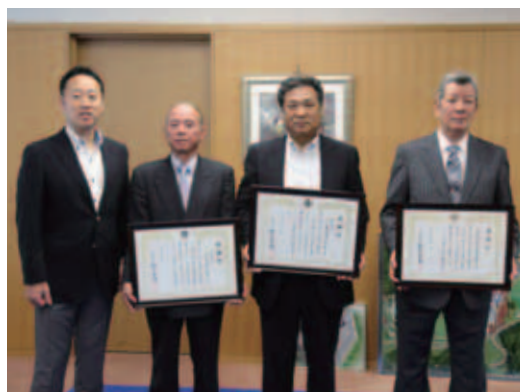


▲会場に展示された電気自動車

豪雨災害の復旧対応に感謝状

昨年8月6日の豪雨災害の際、早期の災害復旧に寄与した3団体（山口県建設業協会岩国支部・岩国西地域防災事業者協議会・山口県測量設計業協会）に5月21日、感謝状を贈呈しました。

いずれの団体も市や県と「大規模災害時における応急対策業務に関する協定」などを結んでおり、この協定に基づき、災害直後から大型土のう設置、道路や河川の土砂撤去、災害復旧工事の測量や設計などに優先的か



▲感謝状を手に福田市長と記念撮影する3団体代表者

感謝状贈呈式

つ迅速な対応が行われました。感謝状贈呈式後は、今から梅雨の時期を迎えるにあたり、災害発生時の対応について意見交換し、協力体制の確認を行いました。各団体の代表者は「感謝状に恥じないよう、災害が発生した際は迅速に協力していきためて各団体の力強い支援を要請しました。」

岡道路課 ☎ 5131



▲今後の災害対応について意見を交わす出席者

5月29日、市民会館で「平成27年度岩国市消費者大会」が開催されました。

昨今の消費トラブルは複雑多様化しており、社会経済の全ての主体が消費者の利益の擁護・推進を意識して活動することが重要になっています。今年度は「みんなでつくろう！消費者が主役の社会!!」という宣言文が採択され、福田良彦市長が「消費者である私たちが消費生活に關して必要な知識を身に付け、

消費者が主役になろう！



▲主催者としてあいさつする福田市長

消費者大会

必要な情報を収集するなど『自立した消費者』となることが必要です」と呼び掛けました。

記念講演では、県立広島大学保健福祉学部の松宮透高准教授が「地域のつながりが防ぐ消費者被害」という演題で、分かりやすい講話をし、参加者は身近な相談相手がいることの大切さや、人とのつながりが心を満たし冷静にさせてくれることを学びました。

岡市民協働推進課 ☎ 5017



▲地域のつながりについて話す松宮透高准教授